

働く目的

本時のねらい

将来の職業選択や卒業時の進路選択に向けて働くことの目的を考えるとともに、社会のために努力している人たちの存在に気づき、感謝の気持ちを持つことができるようにする。

使用する図解

図解8 電気の経路図

図解9 ①電柱 ②鉄塔(発電所内にある鉄塔、街にある鉄塔)

図解10 電線の中身

図解11 停電を防ぐための作業をしている人

図解12 ①鉄塔 ②カラスの巣を除去するために鉄塔にのぼる

③鉄塔の上から見た風景(1) ④鉄塔の上から見た風景(2)

図解13 自然災害復旧(大雪)の様子

図解14 水力発電を維持するためにダムに向かう人々

図解15 ①停電回数・停電時間の推移 ②電力消費量の推移

図解17 ①電力会社の緊急車両(赤色灯部分) ②電力会社の緊急車両(全体)

③東日本大震災の被害復旧に向かう電力会社の緊急車両 ④電柱を立てる作業車

指導過程

| 時間 | 児童・生徒の活動 | 教師の支援 |
|--------------|---|--|
| 15分 (15分) | <p>1 電力会社の概要を知る。</p> <p>(1) 電力消費と停電時間を知る。</p> <p>(2) 電気の通り道を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 図解15-①,②を参照させ、1970年頃と比べると一世帯当たりの電力消費は伸びているが、停電時間は減少していることに気付かせる。 ● 図解8を参照させ、発電所から家庭に電気エネルギーが届くまでの長い道のりを確認させる。 ● 子どもたちが「電気の通り道」や、大きな電流を流すほど電線は太くなることについて具体的なイメージが湧かないようであれば、図解9-①,②・10を参照させる。 |

| 時間 | 児童・生徒の活動 | 教師の支援 |
|--------------|---|---|
| | <p>(3) 電力会社で働く人を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 図解11・12一①,②,③,④・13・14を基に、安定供給のための地道な努力を知らせる。また、写真内の人たちの働きと私たちの生活との関わりを考えさせたり、働く人たちの思いや苦勞を想像させたりする。 ● 災害が起こったときにできるだけ早期に電力を復旧するため、図解17一①,②,③,④にある車両が準備されていることを伝えた上で、実際に出勤したときの様子を紹介する。 |
| 25分 (35分) | <p>2 働く目的について考える。</p> <p>(1) 働く目的について自分の考えを付せん紙に書く。</p> <p>(2) 班で付せん紙の整理をしながら働く目的を話し合う。</p> <p>(3) 班で話し合ったことを班の代表が発表する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 人と相談せずに自分の考えを書くように指示する。 ● 「給料を得るため」といった個人の視点で書かれた付せん紙はA3サイズの桃色用紙に、「停電させないため」「世の中の人困らないようにするため」といった社会全体の視点で書かれた付せん紙はA3サイズの青色用紙に貼り付けさせ、分類させる。「人が困らないようにするため」と ● 分類した付せん紙を基に、働く目的を話し合わせる。 ● 主な発表を視点ごとに分類し、板書していく。 |
| 10分 (45分) | <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の感想をワークシートに書く。</p> <p>(2) 感想を発表する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 本時の話合いを通して、自分の考えの変容を感想の中に取り入れるように指示する。 ● 感想の中に、社会の中で働く人たちに感謝の気持ちを書いた生徒を意図的に指名し発表させる。 |